

いそファミ通信

2021.6 月号



関節リウマチとは

関節リウマチとは、関節が炎症を起こし、軟骨や骨が破壊されて腫れや激しい痛みを伴います。

関節を動かさなくても痛みが生じるのが他の関節の病気と異なる点です。手足の関節で起こりやすく、左右の関節で同時に症状が生じやすいことも特徴です。

その他にも発熱や疲れやすい、食欲がないなどの全身症状が生じ、関節の炎症が肺や血管など全身に広がることもあります。関節の機能が損なわれ、放っておくと関節が変形してしまう病気です。

早期に現れやすい関節リウマチの主な症状

朝のこわばり

朝起きてすぐに手が開きにくい、体を動かしにくい。



関節の痛みや腫れ

関節に痛みが生じたり、熱をもって腫れたりする。関節の痛みや腫れが左右対称に現れる。多くの関節が同時に腫れたりする。

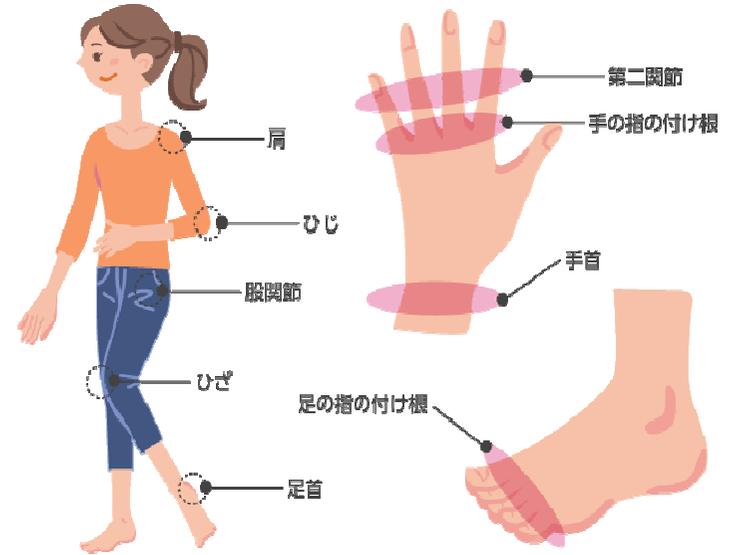


微熱、倦怠期、食欲不振

37℃台の微熱や、倦怠感、食欲不振が続く。



関節の症状が出やすい部分



女性がかかりやすく、30～50歳代で多く発症します。

男女比では人口1000人あたり女性5.4人、男性1.1人と、女性に起こりやすい病気でもあります。

治療

- ・薬物療法 内服 注射
- ・リハビリテーション療法
- ・手術療法

関節リウマチの治療目標は「寛解」です。寛解とは、関節リウマチの症状が、ほぼ消えて、病状がコントロールされている状態のことをいいます。

早期発見、早期治療が大切です。

気になる症状があればご相談ください。